

PAVONE

The Spirit of Elegance

VOL. 20
SUMMER / AUTUMN 2011



THE
PIONEERS
Designer

Profile

アンドレ・フー Andre Fu
AFSO代表

1975年香港に生まれる。14歳でイギリスに渡り、ケンブリッジ大学で建築を学ぶ。2000年に同大学を卒業し、ロンドンにデザイン事務所AFSOを設立。代表作品にシャングリ・ラ 東京のレストラン「ピチューレ」、「はびり」、「フラートン・ベイ・ホテル」(シンガポール)、「アニエスb フラッグシップストア」(香港)など、手掛ける作品はレストランからホテル、ギャラリー、フィットネススタジオと多岐に渡る。いま最も世界で注目を集める香港デザイン界の新鋭。
Tel: +852-2523-6998
www.afso.net



デザイナー
Andre Fu
アンドレ・フー

デザインの世紀

香港の新進デザイナー、アンドレ・フー。若干30代にもかかわらず、数多くのメジャープロジェクトを手掛け、世界の主要なデザインやファッションメディアにおいて、「アジアで最も注目されるデザイナー」として特集が組まれるほどの人気を誇る。いま世界がもっとも注目している香港の新星のデザイン哲学とは。

空間で生まれる
ストーリー・ライン

2009年、香港のバシフィック・ブレイスにオープンしたラグジュアリーホテル『ザ・アップバー・ハウス』(28ページ参照)。随所にアジアンテイストを効かせ、シンプルなミニマリズムで表現されたホテルは、オープンから大きな話題を集めた。このホテルのトータルデザインを手掛けたのが、アンドレ・フーだ。

アンドレは香港のみならず、アジア圏を中心に、ラグジュアリー物件を手掛け、現在香港で最も注目を集めている若手デザイナーの一人。アンドレのデザインには一貫した哲学がある。「そこに携わる人が快適に過ごせること。」「デザインを考える時、最初に空間の動きをイメージします。そこで働

くスタッフ・ゲストを想像して、空間で生まれるストーリー・ラインを描くんです。それから空間デザインの魅力を最大限に表現する雰囲気作りを行います」

アジアを代表するデザイナー、
アンドレ・フー誕生

香港とイギリスで育ったアンドレは、ケンブリッジ大学在学中に余計な装飾を排した、「ミニマリズム」で知られる建築家ジョン・ポトンに師事。「ジョン・ポトンからは多くを学びました。その哲学は私のデザインの礎となっていますが、特定のスタイル。は意識していません。単に美しく作るのではなく、そこを取り巻く環境やライフスタイルを意識して、その場を作ることが重要です。空間は日々変化するので、例えプロジェクト

クトが終わっても(空間は)続いていますから」

『ザ・アップバー・ハウス』は完成から2年を経た現在、新たにバーラウンジがオープン。ゲストにとって、より過ごしやすい空間へとアップロードされている。

現在、『フォーシーズンズスリゾート蘇州』や『シャングリ・ラ ホテル ロンドン』など16の新規プロジェクトが進行中。そのインスピレーションの源は、人との出会い。「仕事でもいろいろな方に出会ったり、さまざまな業種・バックグラウンドを持った方たちと話して感性を磨いています。また時間があれば、美術館に行きますね。香港には、素晴らしいアートや美術館がありますよ」

アートセンスは作品の中にも垣間みられる、『ザ・アップバー・ハウス』には、なんと350ものアート・ピースが点在している。

加速都市、香港

時代の寵児アンドレ・フーにとって、香港はスピード。だという。「現在の香港は、タクシーのように、とにかく速い(笑)。そのスピードは、年々加速しています。なんでもが猛スピードで突き抜け、みんな「次はなに？」で探している。そこから新しいことが生まれてくるのは事実です。でも、私はもう少し落ち着いて物事に取り組みたいですね」

無邪気な素顔が見え隠れするアンドレだが、その眼力は力強く、未来の香港をしっかりと見つめていた。



上/フラートン・ベイ・ホテル(シンガポール)の荘厳なロビー
下/『Essence of Nature』がテーマのシャングリ・ラ 東京「なだ万」

右上：最上階のレストラウ「カフェ・グレイ・テラス」は、東洋と西洋が絶妙にミックスされたアンテナテラス。香港の景色によく似合う。
 右下：館内の至るところで目にするアートピース。左：ゲストルームエリアのアトリウム（吹抜け）部には日の出をイメージした「Red | Hoshinawa Swanda」の作品がある。仄明かりにゆらめく影が幻想的。



The Upper House

ザ・アッパーハウス [アドミラルティ/金鐘]
 Pacific Place 88, Queensway Admiralty, Hong Kong
 Tel: +852-2918-1838
 www.upperhouse.com

Calm and Comfort

都市の静風景

2009年にオープンしたラグジュアリーホテル「ザ・アッパーハウス」の魅力、デザインを担当したアンドレ・フー氏をご案内。

ザ・アッパーハウスのテーマは、「Calm and Comfort (静穏な快適性)」。慌ただしい香港の街にあり、外界とは一線を隔てた静寂空間をデザインしました。ここは私がトータルデザインを手掛けた最初のホテルです。シンプルなミニマリズムでまとめ、随所に竹やアジアンテイストを配しています。ザ・アッパーハウスにはロビーがありません。すべて専属のコンシェルジュが対応します。ゲストの皆様には、香港の別邸に遊びに来たという印象を感じていただくため、極力ホテルらしさを廃しました。エントランスを抜けると、すこし長めのエスカレーターに乗ります。下から見上げると先は見えず、ランタンのやさしい光が竹の木組みを仄かに灯しています。ここを通るうちに外の空気は遠のき、ホテルの静寂空間がゲストを温かく迎えます。

最上階にはライブラリーとヨーロッパアンティーククラシックフードが楽しめる「カフェ・グレイ・デラックス」があります。ここは49階なので、香港の素晴らしい景色が一望できますよ。レストランはミシュラン一ツ星で味は保証つき。インテリアはアジアンテイストを基調にしています。スタッフのユニフォームもデザインしました。ゲストルームは通常のホテルより広いスペースを確保しています。心地よくリラクセスしていただくために、あまり物を配置せずシンプルに。そのかわり大きめの窓を確保し、開放感を演出しています。バスルームはバスタブをセンターに配したユニークな構造です。すべてのゲストルームを含め、館内の要所に私の好きなアート作品を設置し、全体の一休感を演出しています。全部で350点あるので、館内はさながら美術館ですね。ザ・アッパーハウスで気に入っているのは、視覚的に心地よいところ。すなわち光や木の温もり、落ち着いた静謐空間。一人でも多くの方に越えたいですね。私のデザインに触れていただきたいと思いますね。



THE PIONEERS:
 ANDRE FU
 The Piece of Works:
 Hotel

香港の美しいハーバーが一瞥できる「アッパー・スイート」シンプルモダンにまとめられた室内に煤々と陽光が降注く。



ザ・アッパーハウス最上階のレストランへ向かう通路「スカイブリッジ」天井には傘を模したアートピースがめらめらしている。やわらかい光と木の温もりを基調にしたデザインはゲストに寛ぎを与える。